

令和2年度

第1回 国田市民センター運営審議会

日 時 令和2年6月29日（月）
午前10時から
場 所 国田市民センター ホール

次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 正副会長選出
- 4 会長あいさつ
- 5 議 題
 - (1) 令和元年度利用状況について
 - (2) 令和2年度国田市民センター運営方針及び重点目標について
 - (3) 令和2年度事業計画（案）について
 - (4) その他
- 6 閉 会

水 戸 市 国 田 市 民 セ ン タ ー

(1) 令和元年度施設の利用状況について

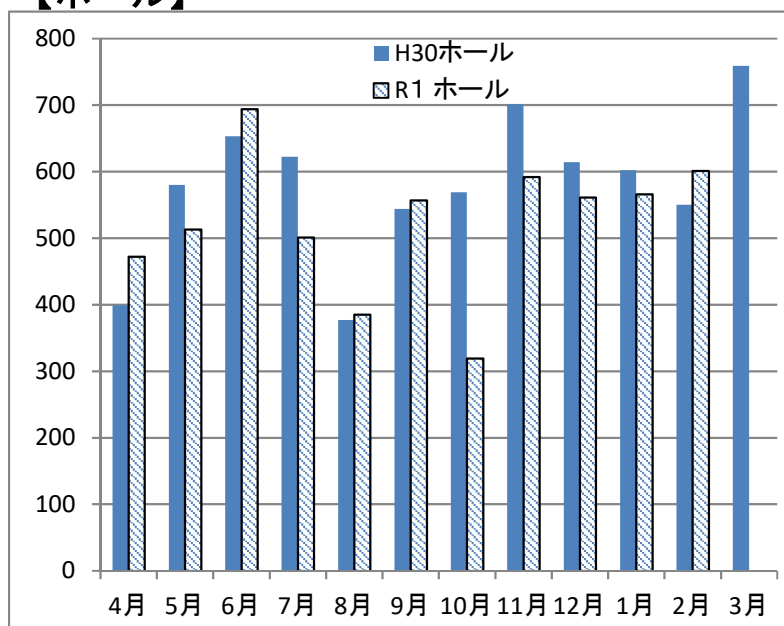
《令和元年度》

月	ホール		和 室		集会室		調理室		コミュニティルーム		合 計		図書貸出件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4	46	472	5	82	12	166	1	3	7	48	71	771	0
5	43	513	4	53	13	174	3	9	2	9	65	758	0
6	53	694	2	20	15	174	1	9	5	42	76	939	0
7	52	501	6	103	14	123	2	36	4	20	78	783	0
8	38	385	3	59	8	120	1	20	3	12	53	596	0
9	45	557	4	46	14	172	1	11	2	4	66	790	0
10	26	319	4	97	11	162	5	46	9	151	55	775	0
11	49	592	2	29	19	195	7	59	7	53	84	928	0
12	45	561	2	17	15	168	2	23	2	14	66	783	0
1	42	566	3	29	14	150	4	37	1	5	64	787	0
2	47	601	5	50	14	223	2	35	2	11	70	920	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	486	5,761	40	585	149	1,827	29	288	44	369	748	8,830	0
前年度比	-67	-1209	-10	-69	-15	-100	5	26	-38	-155	-125	-1507	-5

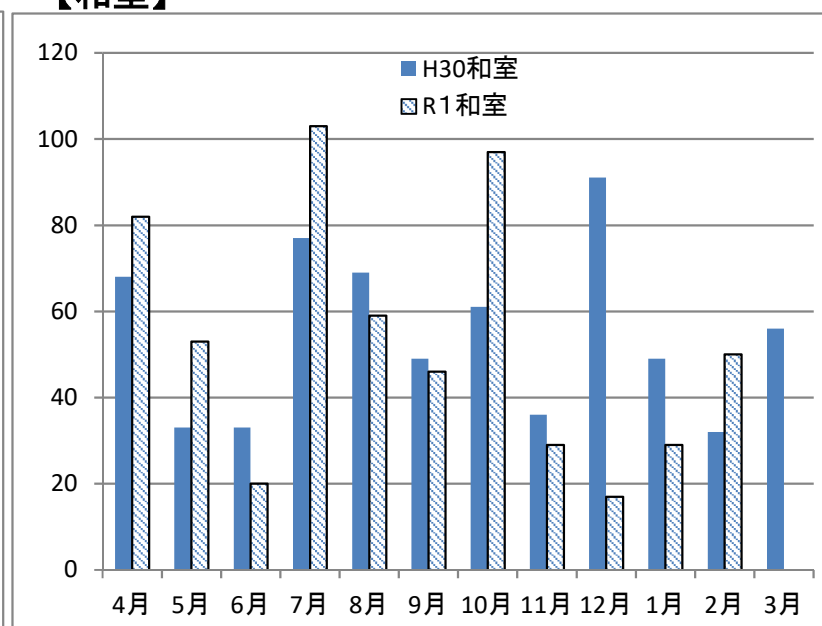
《平成30年度》

月	ホール		和 室		集会室		調理室		コミュニティルーム		合 計		図書貸出件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4	41	399	5	68	12	163	0	0	9	50	67	680	0
5	42	580	3	33	12	157	2	6	9	41	68	817	0
6	49	653	4	33	18	196	1	10	9	41	81	933	0
7	45	622	5	77	22	266	2	41	7	124	81	1,130	1
8	38	377	4	69	15	197	1	20	4	19	62	682	0
9	45	544	4	49	12	132	1	10	9	44	71	779	0
10	46	569	5	61	15	163	2	32	8	55	76	880	0
11	46	701	3	36	12	139	6	37	7	39	74	952	0
12	52	614	6	91	12	134	2	18	6	41	78	898	3
1	50	602	4	49	9	112	3	27	5	21	71	811	1
2	45	550	3	32	15	170	3	39	4	16	70	807	0
3	54	759	4	56	10	98	1	22	5	33	74	968	0
合 計	553	6,970	50	654	164	1,927	24	262	82	524	873	10,337	5

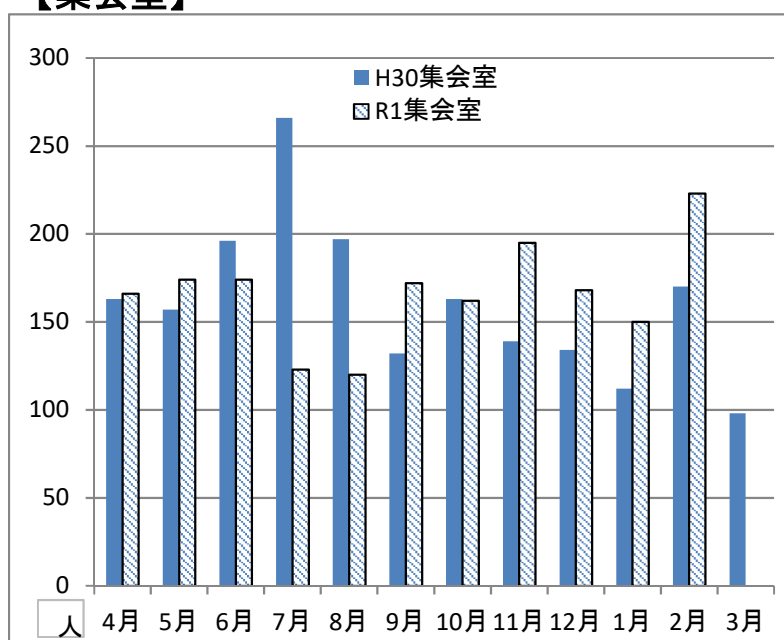
【ホール】



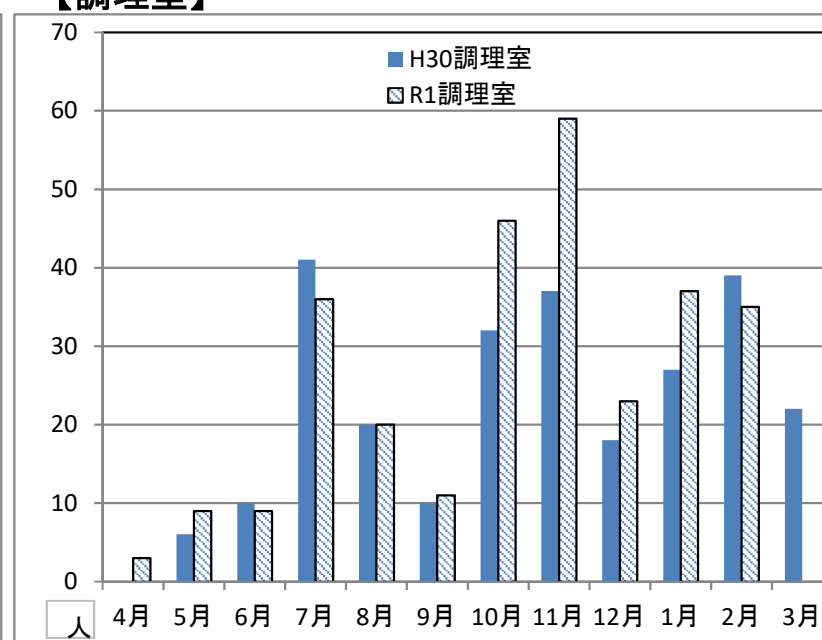
【和室】



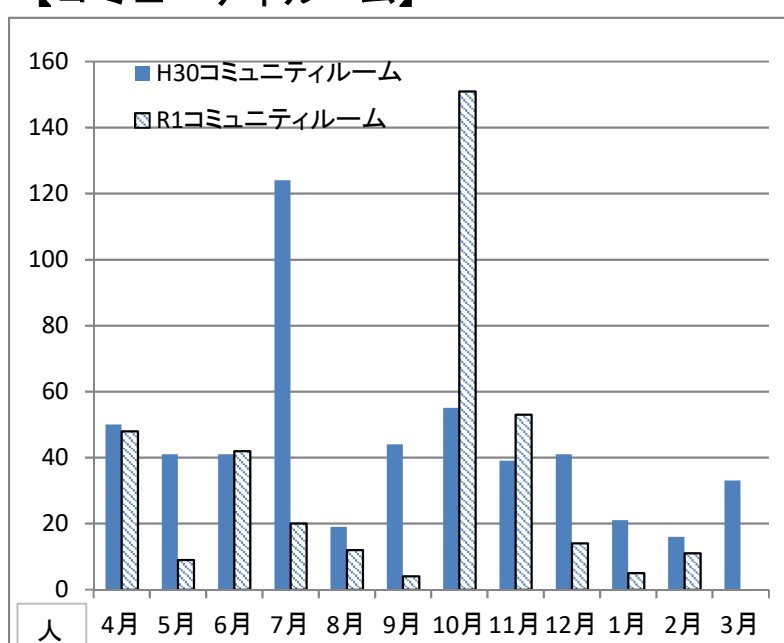
【集会室】



【調理室】



【コミュニティルーム】



(2) 令和2年度国田市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災や令和元年東日本台風での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの積極的な利用を促進する。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化

への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集を活用し、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、家庭教育学級を開催するほか、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上を図る。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

家庭・地域・学校が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団での交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3) 令和元年度事業計画（案）について

《 市民センター主催事業 》

事業名		日程	内容
運営審議会	第1回	6月29日（月）	令和元年度利用状況について 令和2年度運営方針・重点目標について 令和2年度事業計画（案）について
	第2回	2月下旬	令和2年度利用状況について 令和2年度事業報告について 令和3年度定期講座募集（案）について
定期講座		5月7日（木） ～22日（金）	受講生募集期間
		6月～3月	開講式…各講座開講日に実施 *クラブ…9講座
ふれあい学級 （国田幼稚園共催）		未定	
家庭教育学級		1月	新入学児童保護者対象の講演会
成人講座		8月5日（水）	苔玉づくり教室
子ども教養講座		未定	
家庭教育強化事業		未定	
生涯学習フェスティバル		2月2日（日）	作品展・発表会・模擬店

《 関連事業 》

事業名	日程	主催
子育て広場	7月28日（火）から 毎月第4火曜日	国田女性会

《高齢福祉課地域支援センター主催事業》

元気アップ・ステップ運動教室 毎週月曜日 9:30～11:00
いきいき健康クラブ 毎月第2・4金曜日 9:30～11:30

《 定期講座開設状況 》

実施期間 令和2年6月～令和3年3月

【 クラブ 】

	クラブ名	実施日	時 間	開講日	受講者数	講 師
1	書 道	第2・4月曜日	9:30～11:30	6月8日	13	石川 敏子
2	絵手紙	第2・4月曜日	13:00～15:00	6月8日	7	鯨 和子
3	生 花	第2・4火曜日	9:30～11:30	6月9日	8	印南 春子
4	ヨ ガ	第1・3水曜日	10:00～11:30	6月3日	15	佐久間 恵子
5	スポーツ吹矢	第1・3水曜日	13:30～16:00	7月1日	12	小堀 淳子
6	料 理	第 2 木曜日	9:30～13:00	10月8日	12	軽部 知美
7	歌 謡	第2・4木曜日	13:00～15:00	6月11日	21	金沢 はるみ
8	フラダンス	毎 週 金曜日	19:30～21:00	6月5日	14	和田 智子
9	籐工芸	第2・4土曜日	9:30～11:30	6月6日	22	瀬谷 洋子

参 考

実践会関係事業

事業名	日程	部会・団体名
令和2年度総会	中止	
地域交流事業		
ホテル観察会	中止	環境整備部
さんさん祭り	3月6日(土)	地域振興部
三 大 事 業		
国田夏祭り	中止	地域振興部
敬老会	記念品配布	福祉厚生部
市民運動会	10月	スポレク部
移動学習	中止	生涯学習部
防災訓練	10月	防災防犯部
市民歩く会	11月	スポレク部
ふれあい食事会	11月	福祉厚生部
ミックスバレーボール大会	11月23日(月)	スポレク部
青少年社会環境浄化活動	11月29日(日)	青少年育成会
生涯学習フェスティバル	2月7日(日)	生涯学習部

国田地区・三の丸地区協働事業

事業名	日程	内 容
田植え体験	5月13日(水)	実践会において実施 場所：国田地区圃場
さつまいも苗植え体験	6月7日(日)	国田義務教育学校 三の丸小学校, 実践会で実施 場所：田谷町管理農地
稲刈り体験	9月30日(水)	国田義務教育学校5・6年生 場所：国田地区圃場
さつまいも収穫体験	11月17日(火)	国田義務教育学校1～4年生 三の丸小学校2年生 場所：田谷町管理農地
収穫祭	12月4日(金)	国田義務教育学校1～6年生 三の丸小学校5年生 場所：国田義務教育学校

国田市民センター運営審議会委員名簿

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

(順不同，敬称略)

氏名	住所	職名
根本正一		国田地区自治実践会 副会長
園部武正		国田地区自治実践会 総務部長
小林安子		国田女性会副会長
高安成子		国田市民センター 定期講座代表
石川敦史		国田義務教育学校 PTA会長
古橋賢治		国田義務教育学校長